

平均落札率

明電舎07～11年度95%超

県企業局 清水容疑者の在任中 官製談合

県企業局西部事務所も入札情報を漏らした疑いがあるとみて調べている。

重電メーカー「明電舎」(本社・東京都品川区)

が落札した工事や点検業務の平均落札率が95%を超えることが1日、分かった。明電舎側に11年10月、入札情報を漏らしたとして官製談合防止法違反容疑

などで逮捕された同局東部事務所管理課班長、清水信博容疑者(50)について、県警は他の発注事業について

落札率



予定価格に対して業者がいくらかで落札したかを示す割合。予定価格を超える

と落札できない。公正な業者間競争のため、発注元(今回は県企業局)は予定価格を業者に秘密にしておかなければならない。100%

に近い落札率は、他の業者が落札しないように担当者に影響力を行使したり、業者同士の談合によって起きる場合がある。

落札した工事や点検は56件あった。うち4件%未満の価格で同社が落札した。全体の約7

割にあたる39件が95%以上だった。希望業者は入札前に渡される工事や点検業務に関する資料を基に入札金額を決める。ある電気工事会社の

台後半を連続して出すのは難しく、平均で95%を超える落札率を出していたとすれば、明電舎は事前に予定価格を知っていたとしか思えない」と話す。11年度に同事務所が発注した工事全体の平均落札率は89・1%だった。

と共謀したとして逮捕した明電舎エンジニアリング事業部の元浜松営業所長、松浦高広(42)と元静岡サービス部専任部長、阿部敏博(60)の両容疑者が清水容疑者に飲食や温泉旅行の接待をしていたとみており、入札情報漏えいの経緯などを捜査している。【平塚雄太】

均率	75%
平落札	96%
札数	12
落件	11
07年度	11
08年度	12
09年度	10
10年度	10
11年度	10
計	56

明電舎の落札件数と平均落札率